

事業実績書

団体名	阿東地域づくり協議会
-----	------------

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

すべての世代がふるさとへの誇りを持ちみんなでつくる阿東地域

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	少子高齢化の進む阿東地域で子供から高齢者まで各世代の交流		
	事業名	令和版あとうふるさと祭	決算額	804,736円
②	視点	阿東地域の情報、地域づくりの取り組みを発信、共有		
	事業名	広報誌発行	決算額	506,880円
③	視点	新成人にふるさとあとうの特産品を贈り阿東の良さを再確認してもらう		
	事業名	新成人記念品贈呈事業	決算額	124,200円

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)		自己評価
①阿東の魅力を発信できた。来年も開催したい。		○
②地域住民にわかりやすい広報誌を発行するよう努めた。		○
③年々新成人が減少しているが来年も事業を行いたい。		○

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

4 総括

過疎化高齢化等で、後継者不足の中 各地域内で事業に取り組み成果をあげた。

5 事業内容

(1)協議会運営

事業費	9,210,322円
事務局の運営体制	(事務員等の雇用人数) 事務局長1人 事務局員9人 (運営費の主な内容)事務局人件費、事務費 (成果・評価) 年間を通じて滞りなく事務局運営をおこなった。 (今後に向けて)地域内はもとより、交流センター及び各機関との連携を強化し、運営体制の充実を図りたい。

5 事業内容 【阿東】

(2) 地域振興

事業名	地域づくり計画推進(令和版あとうふるさと祭)
事業費	804, 736円
事業概要	(目的)阿東の魅力を発信する。 (実施内容)ステージ、バザー、体験コーナー、地域おこし協力隊活動報告 (実施時期)令和6年11月17日 (参加人数)延べ440人 (成果)阿東のおいしい食べもの等 阿東の魅力を発信できた (評価)子供から高齢者 阿東地域外の人も多く来場してくれた。 (今後に向けて)次年度も引き続きイベントを実施したい。

事業名	地域づくり計画推進(地域を明るく照らすイルミネーション)
事業費	40, 000円
事業概要	(目的)竹林の伐採地の有効活用のためのイルミネーション (実施内容)LEDライト等の電飾の増設 (実施時期)令和6年12月10日～令和7年1月10日 (参加人数)17人 (成果)支柱を8メートルと高くしたので国道からもよく見えた。 (評価)開催3年目になり関心も高まり地域の一体感が醸成できた。 (今後に向けて)次年度も引き続きイベントを実施したい。

事業名	広報活動(あいらぶあとう 地域広報誌発行)
事業費	506, 880円
事業概要	(目的)地域広報誌あいらぶあとうを発行する。 (実施内容)地域版広報誌の発行 (実施時期)令和6年4月～令和7年3月 (参加人数)2800部 (成果)阿東全域に戸別配布した。 (評価)編集会議を重ね地域の情報を掲載した。 (今後に向けて)より見やすい紙面づくりをめざす。

(5) 環境づくり

事業名	環境実践事業(JR山口線駅トイレ管理費の補助)
事業費	72, 859円
事業概要	(目的)各駅舎のトイレの環境整備。 (実施内容)各駅舎のトイレ清掃、管理の補助。 (実施時期)年間 (参加人数) 5駅 (成果)各駅舎の清掃ができ利用者が気持ちよく使えた。 (評価)各駅舎のトイレ清掃により清潔な駅舎は利用者のイメージアップにつながった。 (今後に向けて)清掃を続けきれいなトイレを維持したい。

(6) 地域個性創出

事業名	イベント事業(梨とりんごのお花見ピクニック)
事業費	118, 609円
事業概要	(目的)梨とりんごのお花見で交流人口の増加、阿東の魅力を知ってもらう (実施内容)梨とりんごのお花見イベントの実施 (実施時期)令和6年4月6日～4月15日 (参加人数)217名 (成果)交流人口の増加、阿東地域のファン、リピーターの増加。 (評価)本イベントと街と中山間地域をつなぐ架け橋となっている。 (今後に向けて)農家以外のスタッフの確保が必要であり阿東外から興味のある人を募りたい。

事業名	イベント事業(徳佐小学校ふれあいコンサート)
事業費	50, 000円
事業概要	(目的)小学生と地域の方と交流を持ち芸術に触れる。 (実施内容)ソプラノ、ピアノコンサート (実施時期)令和6年12月18日 (参加人数)100名 (成果)ソプラノ歌手とピアニストが素晴らしく本物の芸術に触れることができた。 (評価)芸術性の高いステージと中学生の合唱もあり好評だった。 (今後に向けて)今後も文化活動を企画し実施日の選定に留意したい。

事業名	生涯学習の里づくり(文芸阿東発刊)
事業費	100, 000円
事業概要	(目的)阿東の文化発展のため。 (実施内容)文芸阿東38号の発刊。 (実施時期)令和7年3月 (参加人数)25人 (成果)多方面から原稿を寄稿してもらった。 (評価)予算が少なく発刊できるか危ぶまれたが継続発刊できた。 (今後に向けて)今後も阿東の文化発展のため発刊したい。

事業名	生涯学習の里づくり(グリーンコーラス記念誌発行)
事業費	100, 000円
事業概要	(目的) 今までの活動の集大成として1冊の本にまとめる。 (実施内容) 結成時から今までの活動を一冊の本にした。 (実施時期) 令和7年3月 (参加人数) 19人 (成果) 今までの長い活動の集大成として立派な記念誌ができた。 (評価) 地域の文化的サークルとして長年活動してきた。 (今後に向けて) さらに活動を続けていきたい。

事業名	人材育成(小中学校交流会)
事業費	50, 000円
事業概要	(目的) 保育園小中学校生とたい焼きを作り、交流を深め食の大切さを学ぶ。 (実施内容) 保育園 小中学校を回り、たい焼きを作る。 (実施時期) 令和6年11月1日～29日 (参加人数) 140人 (成果) 保育園児、小学生、中学生たちがおいしいと言ってくれ笑顔になった。 (評価) 実施して大変喜ばれた。 (今後に向けて) 次年度以降も実施したい。

事業名	人材育成(新成人記念品贈呈)
事業費	124, 200円
事業概要	(目的) 少子高齢化の中、阿東を離れた新成人の方に故郷を思い出してもらうため。 (実施内容) 阿東の特産品を送った。 (実施時期) 令和6年12月～令和7年2月 (参加人数) 23人 (成果) 24人中23人から申し込みがあった。 (評価) 新成人やご両親から謝意の電話があった。 (今後に向けて) 新成人の多くが市外居住で阿東地域の情報提供の一助になった。

5 事業内容 篠生

(2) 地域振興

事業名	篠生盆おどり・慰霊祭／盆おどり環境構築費
事業費	65,000 円
事業概要	(事業の目的) 篠生分館の駐車場が完成してから、初めて盆おどり大会を開催するので盛大に開催し、帰省した人たちが集える場所をつくる。 (事業内容) また、昨年7月から今年6月までにお亡くなりになられた方の慰霊祭を開催し、偲ぶ。バザー(焼き鳥)と飲み物の販売。子供コーナーにて、ポップコーン、ヨーヨー、スーパーボール、光るおもちゃ、花火を配布。盆おどり(けだし)をおどり、次世代へ継承する。来場者へうちわをプレゼント。抽選会の開催。 (実施時期) 8月13日 (参加人数) 約200人 (成果) 子どもから年配の方まで多くの方にご来場いただいた。 (評価) 帰省した人など、久しぶりに会った者同志で話をする機会を提供することができた。 (今後に向けて) 篠生地区には、帰省した際にみんなで集まって食事ができる場所(飲みに行ける場所)が少ないため、お盆に帰省した際には、この盆おどりに来ていただいて、みんなで集える機会を提供していきたい。

事業名	阿東地域交流センター篠生分館竣工記念イベント
事業費	20,440 円
事業概要	(事業の目的) 篠生分館の工事が終わり、記念式典を盛大に開催し、地域の人たちと喜びを分かち合う。 (事業内容) 篠生分館及び道の駅長門峡駐車場竣工式典開催後に、餅まき・お菓子まきを行い、喜びを地域の方と一緒に分かち合う。 (実施時期) 6月2日 (参加人数) 約100人 (成果) 多くの地域の方に来ていただくことができてよかった。 (評価) たくさんの笑顔を見ることができ、喜びを分かち合えた。 (今後に向けて) 分館が新しく建て替わり、駐車場も広くなったので有効活用していきたい。

事業名	長門峡渓谷てくてくウォーク&長門峡カフェ
事業費	60,000 円
事業概要	(事業の目的) 長門峡渓谷てくてくウォーク…長門峡渓谷は国の史跡に指定されて以来、昨年で100周年を迎えることができた。毎年行っている事業だが、特に今回は記念事業として広くPRする。 (事業内容) 長門峡カフェ…昨年より、長門峡もみじ祭に参加しての、観光客へのおもてなし事業として実施。 (実施時期) 6月8日(土)10時よりJR長門峡集合。長門峡渓谷遊歩道往復10km 参加人員17名。 (参加人数) 11月3日もみじ祭「長門峡カフェ」・「てくてくウォーク」もみじ祭に参加協力し、探勝客におもてなしの姿勢で無料カフェを開催した。秋のてくてくウォークも開催した。 (成果) 6月8日、11月3日 (評価) 6月8日長門峡渓谷てくてくウォーク…22人 11月3日長門峡カフェ…約500人 (今後に向けて) ・てくてくウォークは、観光協会より5名(ガイド含む)参加し総計22名参加。募集参加17名(男4、女13・60代9名、70代8名) ・長門峡カフェでは450食分用意したが完了した。「てくてくウォーク」部門は参加者がやや少なめだった。 ・てくてくウォークは、30名募集であったが17名にとどまった。町内リピーターが多く、全員60～70歳代であり、毎年参加を楽しみにしておられる方が多かった。 ・長門峡カフェは、地元中学生や協力者と連携し、利用者も大変好評だった。 ・てくてくウォークは、若年層、阿東外の参加者増に向けた方策が必要。 ・長門峡カフェは、有料も考慮することも必要と思う。

事業名	地域活性化と関係者人口創出プロジェクト
事業費	60,000 円
事業概要	(事業の目的) 篠生地域の特性を活かした活動を実施して、住民のつながりをつくと共に篠生の関係人口を増やし、地域の活性化を図る。 (事業内容) 地域内外の人との繋がりをつくと共に長門峡(篠生・阿東)の関係人口を増やし、地域の活性化を行うことを目的に、篠生分館周辺で「長門峡アート&マルシェ」を3回開催した。 (実施時期) 4月28日、8月4日、11月9日～10日 (参加人数) 延べ約1000人 (成果) 「長門峡アート&マルシェ」を通し阿東地域内外の多くの人や団体との繋がりができ、長門峡(阿東)地域の素晴らしさをPRすることができた。 協力者や来場者も毎回増え、関係人口が増えている。 (評価) Uターン・Iターン者、既存住民、篠生出身者、山口市以外など、多彩な出展の広がり、来場者も多く関係人口の増加と地域活性化が図られている。新たな活性化の可能性が示唆される。 (今後に向けて) 今後とも継続してやっていきたい。課題として、地元の理解者や協力者を増やし、活動資金を確保することが必要である。

(3) 地域福祉

事業名	地域の仲間と交流&活性化研修の旅
事業費	60,000 円
事業概要	(事業の目的) 地域の方々と交流、親睦を深める。 (事業内容) 参加者募集チラシを篠生地区へ全戸配布し、バスを利用し宮島へ研修へ行く。 (実施時期) 7月17日 (参加人数) 41人 (成果) 車中で余興を行い、参加者の一体感が生まれ、笑顔と和やかな雰囲気であった。 参加者が名札を着用し、顔と名前がわかるようにし、親近感を覚え有効であった。 幅広い参加者を得ることができた。 (評価) 久しぶりの楽しい交流の旅、41人の参加により地域一体感の醸成につながった。 (今後に向けて) 地域の皆さんの希望、年1回程度は地域の交流の場として提供したい。 研修視察旅行、体力増強、健康づくり旅行、自然や歴史旅行等を積極的に企画し地域活性化につなげたい。

事業名	三世代交流・門松づくり
事業費	16,041 円
事業概要	(事業の目的) 大人から子供まで、幅広い年齢層の地域みなさんとの交流・ふれあうことで 笑顔になり、元気になってもらう。 (事業内容) 道の駅長門峡駐車場入口に大きな門松と篠生分館、JAと郵便局の門松を作成した。 また、希望者は自宅用の小さめの門松を飾り付け、持ち帰った。 (実施時期) 12月22日 (参加人数) 15人 (成果) 立派な門松を飾ることができた。 (評価) 持ち帰り用で自分の門松をつくる姿が楽しそうだった。 (今後に向けて) これからも地域の方の協力を得て、地域の方の知識を活かした事業を 行っていきたい。

事業名	篠生地区敬老会
事業費	50,000 円
事業概要	(事業の目的) 篠生地区敬老会にて、多くの方に参加していただくため、バスを利用し送迎する。 (事業内容) 篠生地区敬老会にて、バスを使用し、参加者の送迎を行う。 (実施時期) 10月7日 (参加人数) 56人 (成果) バスの送迎があるため、参加してみようと言う方もいた。 (評価) 高齢化等で免許返納する方も年々増えているように感じるが、 今回、バスで送迎を行うことで参加された方もいた。 (今後に向けて) これから高齢化、免許返納者が増えると思うので、バスで送迎できたら いいと思うが、バス代が年々高くなっているのが課題であると感じる。

(4) 安心安全

事業名	防災研修会
事業費	82,444 円
事業概要	(事業の目的) 非常食の試食。高齢化が進み、免許返納者が増える中で、災害時にどうやって避難するのか危惧されるところです。高齢者や要支援者の方々を安全に出来るだけ早い段階で避難させることを目的に、避難所開設等について学ぶ。 (事業内容) 非常食(おむすび)を全戸配布。9時に防災行政無線(屋外スピーカー)や山口市の防災メールで「避難指示」を発表し、篠生分館へ避難してもらう。 今回の避難訓練は、要支援の方や免許を返納された方をどう避難させるのかを課題とし行った。避難後、防災講座を聞き、避難所(分館)にある簡易ベッドなどを見てもらったりした。 (実施時期) 2月16日 (参加人数) 99名 (成果) 多くの方に参加していただき、避難の際に必要なことや河川増水情報の確認の仕方などを学ぶことができた。 (評価) 災害の際に必要な行動を学ぶことができた。 (今後に向けて) 知識があるかないかで生死を分けることもあると思うので、今後も講座を開催するなどして、防災活動の大切さを学んでいきたい。

(5) 環境づくり

事業名	長門峡もみじ祭事前景観整備作業
事業費	5,118 円
事業概要	(事業の目的) 11月3日に開催される長門峡もみじ祭の前に長門峡周辺の草刈り等を行い、景観をよくする。 (事業内容) 毎年11月3日に開催される長門峡もみじ祭の前に祭り会場周辺の清掃活動を行っており、草刈りを行った。 (実施時期) 10月27日 (参加人数) 約50人 (成果) 草刈りを行ったことで景観がよくなった。 (評価) のびていた草を刈ったことで景観が良くなり、歩きやすくなった。 また、駐車スペースが広がった。 (今後に向けて) これからもお祭の前や紅葉シーズン前に清掃活動を続けて行きたい。

(6) 地域個性創出

事業名	長門峡もみじ祭
事業費	100,000 円
事業概要	(事業の目的) 子どもから大人まで多くのお客様がいらっしゃる長門峡もみじ祭で長門峡のPRを行い、お客様に「また、来たい」と思ってもらえるようなお祭にする。 (事業内容) 祭関係者は法被を着用し、祭の雰囲気盛り上げる。あとう夢語太鼓の演奏。鮎など地元の特産品の出店販売。チラシを作成し、新聞折込。サンデー山口にも広告を掲載した。長門峡写真コンテスト、長門峡カフェ・ウォーク、長門峡スタンプラリーの開催。 (実施時期) 11月3日 (参加人数) 約1500人 (成果) 県内、県外から多くの方にお越しいただいた。 (評価) 祭の前的大雨で川が増水し、一部中止、変更となった事業もあったが、地元特産品と長門峡をPRすることができた。 (今後に向けて) 今年で43回目を迎え、伝統あるお祭りでもあり、国の名勝長門峡や阿東の特産品等をPRできるお祭のため、今後も続けて開催していきたい。

事業名	篠目駅を活用した山口線と地域活性化
事業費	30,000 円
事業概要	(事業の目的) 篠目駅は山口線の阿東地域最初の駅で、鉄道遺産や周辺環境、列車の離合条件などに恵まれ、乗鉄、撮鉄など多くの人が注目する重要スポットである。山口線の存続を含め、篠目駅の環境整備やPRを住民が一緒に取り組み、地域の活性化や住民の繋がりと郷土愛の育成を図る。 (事業内容) 篠目駅構内の花プランターや花壇の管理。篠目駅周辺の環境整備。おかえりSLやまぐち号歓迎行事。篠目駅や駅周辺の「活用検討会」 (実施時期) 通年 (参加人数) 230人 (成果) 篠目駅構内の花プランターや花壇の管理により山口線利用客や撮影者に喜ばれた。5月3日SLやまぐち山口号復活歓迎行事にはメッセージボードや歓迎旗等で地域住民や撮鉄JROB等200人で歓迎した。 (評価) 取組状況も新聞に記事として取り上げられ、当日もNHK取材(情報維新で後日放映)や新聞取材等もあり、JR西日本にも協力していただき、全国からの撮り鉄ファンとの交流もでき、SLやまぐち号と篠目駅周辺の風景を好印象づけた。 (今後に向けて) 自治体やJR西日本、撮り鉄ファンと地域住民と一体となり周辺の環境整備に取り組む。

5 事業内容 生雲

(2) 地域振興

事業名	生雲ふれあいフェスタ
事業費	100,000円
事業概要	(実施目的) 地域最大のイベントとして、交流とふれあいを深める。 保育園児・小学校児童・学習活動や、諸グループの活動発表の機会、文化活動などを鑑賞して、生涯学習の推進に資する。 (実施内容) 小学生や地元有志の発表、消防音楽隊の演奏 各種団体のバザーや、諸グループの作品展示 (実施時期) 令和6年6月2日 (参加人数) 約200人 (成果) 昨年に引き続き開催でき、より多くの方と交流しふれあいが深まった小学生・諸グループの発表する場となった。 (評価) バザーも前回通り出店していただき、多くの方が参加し成功に終わったと思う。駐車場係は、午前午後に分けて良かった。 (今後に向けて) スタッフは多くいるので、分担し時間交代など改善が必要。 外でバザーを行う方が、ステージでの進行状況が分からないため放送などこまめに行うといい。

事業名	生雲サマーナイトフェスタ
事業費	50,000円
事業概要	(実施目的) 夏の祭典として、地域の活性化に寄与する。帰省客と家族、地域住民のふれあいの場として意義も大きい。 (実施内容) バザー、花火大会、盆踊り(生雲開発倶楽部) (実施時期) 令和6年8月14日(水) (参加人数) 約1000人 (成果) 帰省客、周辺地区からの見物客でにぎわった。 ビアガーデン・焼き鳥等も多くの方に購入していただいた。 (評価) 途中雨も降ったが、夜市や盆踊りなど行い、花火の時間帯には大勢の方があつまりましたが、夕方の雨のせいか花火は霏がかかった状態で音だけ響きわたりました。例年以上の人がいたと思う。 (今後に向けて) イベント内容に若い人たちも楽しめるものを盛り込みたい。

事業名	生雲地区盆踊り大会
事業費	30,000円
事業概要	(実施目的) サマーナイトフェスタと一緒にいき、帰省した人や他地区の人が、長く伝わる踊りや阿東の曲などを輪になって踊り、交流することで連帯感ができ、故郷への愛着が生まれることを目的とする。 (実施内容) 盆踊りをし、踊ってくれた子どもに、お菓子や花火が当たる、くじ引きと、ヨーヨー釣りを行った。 (実施時期) 令和6年8月14日(水) (参加人数) 約80人 (成果) たくさん子どもたちや帰省した家族が参加された。 (評価) 会場の飾りつけなど、喜んでもらえた。 (今後に向けて) 継続して行いたい。

事業名	祭りを盛り上げよう
事業費	30,000円
事業概要	(実施目的) 伝承されている行事を盛り上げ地域の活性化に寄与する。 (実施内容) 昨年同様開催することができ、スタンプラリー・フリーマーケット・子どもの遊び場・地元野菜の販売もした。 キッチンカー・トイトイなどその他団体も販売してもらえた。 (実施時期) 令和6年10月6日(日) (参加人数) 約300人 (成果) 多くの観光客が来て、秋祭りも盛り上がったと思う。 あとう夢語太鼓ができたのがよかった。子どもの遊び場には、 たくさんの子どもたちが集まっていた。 (評価) もっと盛り上げるためには、スタッフの増員が必要だと思う。 写真展には入りやすいような工夫がある。暑かったため、休憩所に テントが必要だった。 (今後に向けて) 毎年、出店していきたい。アンケートを取ってみるのもいいと 思う。ほかのイベントでも希望があれば出店したい。

事業名	新春交流会
事業費	30,000円
事業概要	(実施目的) 地元の人や帰省した人が、一緒に新年を迎え、おしるこを食べたり、 くじを引いたりして交流することで連帯感ができ、故郷への愛着が 生まれることが目的。 (実施内容) 新春へのカウントダウン、くす玉割、富くじ、おしるこ配布。 (実施時期) 令和6年12月31日(火)～令和7年1月1日(水) (参加人数) 約150人 (成果) 昨年同様に開催で、朝からの天気、人手が心配だったが、地元の方や たくさんの帰省の家族が参加されにぎやかな交流会となった。 (評価) お手伝い等も、多くの方に来てもらえた。 (今後に向けて) 恒例行事となるよう、継続して行っていきたい。

(3) 地域福祉

事業名	くもたんハウス支援事業
事業費	44, 887円
事業概要	(実施目的) バスの本数が少ないが、待つところがないため、ゆっくり待機できる場所、または交流の場をつくりたい (実施内容) 生活バス・路線バスの待合所。子どもや高齢者の交流の場。 クリスマス前にはイルミネーションを取り付けた。 (実施時期) 年間通して (参加人数) 7人(取付け) (成 果) 利用者も少し増え、休日は子どもたちも利用し遊んでいる (評 価) 少しずつだが、利用者も増えている。 (今後に向けて) 多くの方が利用し、交流する場になればいい。

(4) 安心・安全

事業名	自主防災
事業費	55, 242円
事業概要	(実施目的) 生雲地区民の協働で自主防災活動を促進する。 (実施内容) 非常用保存食の購入 (実施時期) 令和6年度 (参加人数) (成 果) 保存食の購入で、災害にそなえる。避難訓練などの際に使用。 (評 価) 継続して、災害にそなえることができる (今後に向けて) 今年度は避難訓練ができなかったが、自治会も積極的に参加したい。除雪作業も継続していきたい。

(5) 環境づくり

事業名	地区民みんなで清掃活動
事業費	21, 000円
事業概要	(実施目的) 地区民が日常的に使用している生雲小学校周辺の清掃ボランティア (実施内容) 環境衛生自治会と連携しての生雲小学校運動場や旧校舎跡地等、 公用地の除草・草刈作業を通して学校を支援 (実施時期) 令和6年6月16日(日), 8月25日(日) (参加人数) 約160人 (成 果) たくさんの方に参加いただき、学校周辺を綺麗にすることが出来た。 (評 価) 地域の方より車を出し、草の回収をしたので早くできた。 (今後に向けて) 高齢化が進み参加者も高齢の方が多いが、継続していくためにも 若い世代の参加を増やしていきたい。剪定する人を増やすべき。

事業名	桜の園
事業費	77,880円
事業概要	(実施目的) 地域の景観を保全し、憩いの場となることを目的とする。 (実施内容) 桜の維持、周辺の環境整備。肥料の散布。ぼんぼり設置。 桜の園周辺に、コケなどの菌がついている為、剪定・消毒を業者 にお願いした。 (実施時期) 令和6年6月、8月、令和7年2月、3月 (参加人数) 約150人 (成 果) 毎年春、桜が満開になり、地域景観を向上している。 (評 価) 花見の時期に見学者が増加してる。 (今後に向けて) 見学者を増やし、ゆっくり桜を見れる場所を作りたい。

事業名	木和田トイレ清掃
事業費	12, 246円
事業概要	(実施目的) 木和田トイレの管理。 (実施内容) 木和田トイレの清掃を、地域づくり役員が交代で月2回行う。 (実施時期) 令和6年4月～令和7年3月 (参加人数) 7名 (成 果) 今までとは違い、きれいに使ってもらえるようになった。 (評 価) 皆さんに喜んでもらった。 (今後に向けて) 継続していきたい。

(6) 地域個性創出

事業名	きもだめし大会
事業費	15,000円
事業概要	(実施目的) 今の子どもたちは明るい場所で生活しているため、暗闇や自然を感じてほしい。コミュニケーションを深めてもらう。 (実施内容) きもだめし、カレーの配布、DVD鑑賞 (実施時期) 令和6年7月13日(土) (参加人数) 140人 (成果) 昨年同様のきもだめし大会で、生雲地区以外からの参加者も多かった。生雲地区の保護者や地域の方など、お手伝いしていただき無事終えることができた。 (評価) ランタンを新しくし、子どもたちには光リングを付けたのがよかった。楽しかったという声もあった。 (今後に向けて) 継続していきたい

事業名	秋祭り子どもみこし
事業費	15,000円
事業概要	(実施目的) 地域固有の文化や、伝承されている行事の意義や価値について学び、体験することによってふるさと「生雲」を愛する心を培う。 (実施内容) 生雲八幡宮秋季例大祭に合わせ、「こどもみこし」を行う。 (実施時期) 令和6年10月6日(日) (参加人数) 50人 (成果) 多くの子どもや保護者に参加していただき、盛大におみこしが練り歩いた (評価) 他地区からの参加もあり、生雲を知ってもらういい機会となった。 (今後に向けて) 継続して行っていきたい。

事業名	秋祭り奴道中・花車巡業
事業費	60,000円
事業概要	(実施目的) 秋祭りを盛り上げ、山口市指定民俗文化財である「生雲奴道中」、集落主催の「花ぐるま」を継承・保存していく。 (実施内容) 花ぐるまの準備をし、踊り子さんを乗せ巡行する。 奴道中の練習をし、当日練り歩く。 (実施時期) 令和6年10月5日(土)、10月6日(日) (参加人数) 約70人 (成果) 地域の交流の機会となった。 (評価) 若者の集いの場になり、新たに参加する人が増えた。 (今後に向けて) 地域の活性化に繋がるように活動する。

事業名	生雲どんど2025
事業費	15,000円
事業概要	(実施目的) 地域の行事を体験・継承し、交流を深め、青少年の育成につなげる。 (実施内容) 生雲小学校高学年がたいまつの火を持ち、点火した。 集まって下さった方全員で、無病息災、五穀豊穡、商売繁盛、家内安全などを祈願し、その後分館にて昔遊びを楽しんだ。 (実施時期) 令和7年1月11日(土) (参加人数) 約40名 (成果) 事前にお飾りもたくさん集まり、当日も参加者が多かった。 手作りジャンボかるたも楽しんだ。 (評価) どんど焼きを行う事が出来てよかった。 (今後に向けて) 子どもの人数が減り、活動自体も縮小していくが、これからも、どんど焼きを継承していきたい。

事業名	読み聞かせ活動
事業費	9,768円
事業概要	(実施目的) 絵本の読み聞かせやペープサートを通しておはなしの楽しさを体験してもらう。 (実施内容) 絵本の読み聞かせやペープサート、絵本の貸し出し (実施時期) 毎月1回保育園・小学校へ読み聞かせ (参加人数) 毎月 約20人程度 (成果) 熱心に読み聞かせを聞いてくれ、生雲分館の絵本も利用してくれた。 (評価) 子どもたちが絵本に触れる機会が増え、関心も高まったと思う。 新しく絵本等購入できたのでよかった。 (今後に向けて) 読み聞かせは継続して定期的に行っていきたい。

5 事業内容 地福

(2) 地域振興

	自治会連合会活動の充実
事業費	150,000 円
事業概要	(実施内容)防災についての研修視察 (実施時期)令和6年10月 (参加人数)約30名 (成果) 防災自治の先進地を訪問し事例など学ぶことが出来た。 (評価) 災害への備えなど意識啓発として効果があった。 (今後に向けて) 災害はいつおこるか分からないため日頃からの声掛けなどコミュニティを充実させるよう取り組みたい。

事業名	関係人口創出の取り組み
事業費	20,000 円
事業概要	(実施内容)地域外の方に対し地域の取り組みを体験する機会を創出した。 (実施時期)令和6年11月 (参加人数)12 名 (成果) 地域での活動を体験してもらうことで、興味を持ってもらうことができた。 (評価) 人口が減少する中で、関係人口創出の事業は重要だと感じた。 (今後に向けて) 阿東地域に興味をもってもらうことで将来的な移住につなげたいと考えている。

事業名	持続可能な地域づくり&地域文化を通じたコミュニティづくり
事業費	50,000 円、50,000 円
事業概要	(実施内容)ほほえみの郷トイトイ感謝祭としだれ桜フェスタを共同開催した。 (実施時期)令和6年4月 (参加人数)80名 (成果) 地域の生活を守るほほえみの郷トイトイの感謝祭としだれ桜フェスタを同時開催することで、より多くの住民が集う機会となった。 (評価) 地域コミュニティを充実していくことで、人口減少高齢化に対応した地域づくりにつなげていきたいと考えている。 (今後に向けて) 今後も地域住民の交流の機会として継続していきたい。

(6) 地域個性創出

事業名	地域で支える青少年健全育成
事業費	20,000 円
事業概要	(実施内容) 地域内の防犯マップを作成した (実施時期) 令和6年8月 (参加人数) 60名 (成果) 小中学生が地域で安全に生活する情報提供ができた。 (評価) 地域で子供を育てる環境づくりにつながった。 (今後に向けて) 地域の子供たちにふるさとの良さを伝えていきたいと考えている。

事業名	地域行事を通じた人材育成・地域の誇りとなるイベントの継続
事業費	250,000 円
事業概要	(実施内容) 地域の誇りとなるイベントとしてクリスマスナイトフェスティバルが継続できるよう電球を購入した。 (実施時期) 令和6年12月 (参加人数) 500名 (成果) 地域の冬のシンボルとなったイベントを継続実施することで、地域住民の誇りにつながった。 (評価) 地域を離れた若者に年末年始の帰省時に故郷を思い出してもらうことができた。 (今後に向けて) 今後も地域住民の交流の機会として継続していきたい。

事業名	魅力ある学校を地域内外へ発信する事業
事業費	100,000 円
事業概要	(実施内容) 中学生がイベントの企画運営から関わり自分たちの学校の魅力を発信した (実施時期) 令和6年8月 (参加人数) 30 名 (成果) はじめての試みとして中学生によるイベントの企画運営を行ったが、来場者から好評をいただいた。キャリア教育に関して文科省から表彰された。 (評価) 地域住民にとっても学校を知る機会となり中学生との交流が評価された。 (今後に向けて) 次年度も継続していきたいと考えている。

5 事業内容 徳佐

(2) 地域振興

事業名	広報活動(とくさだより)
事業費	60,000円
事業概要	(目的)地域の人に地域づくりの活動を報告する。 (実施内容)徳佐の広報誌を12回発行した。 (参加人数)約1,000世帯 (成果)徳佐地区全戸に配布した。 (評価)徳佐地区の住民に情報提供できた。 (今後に向けて)より分かりやすく地域の情報を伝えられたらいいと思う。

事業名	ふるさと探訪(りんご狩り・クリスマス会)(徳佐子ども会)
事業費	30,000円
事業概要	(目的)徳佐子ども会の親睦をはかる。 (実施内容)①りんご狩り・②クリスマス会を計画し、ゲーム等みんなで協力し、親睦をはかる。 (実施時期)令和6年11月23日・12月22日 (参加人数)①17人 ② 30人 (成果)徳佐の観光地に行ったり、会員同士の親睦をはかることができた。 (評価)次につながる活動ができたことで、自信にもつながり、子ども会の発展、継続に繋がると思う。 (今後に向けて)子ども達の意見、要望を聞きながら、楽しい活動を続けていきたい。

(3) 地域福祉

事業名	高齢者福祉(福祉的まちづくりを考える会)
事業費	15,046円
事業概要	(目的)学習的・研修的・実践的活動を通じて、この地域全体の福祉的生活の向上を目指す。 (実施内容)障がい者施設を訪問し、知的障がい者への理解を深めるための研修を行った。 高齢者の集いの場の提供(ひさの屋活動)。野菜作りを通して障がい者とその家族と交流を図った。 (実施時期)令和6年4月～令和7年3月 (参加人数) 240人 (成果)活動参加メンバー以外の地域の人にも、会を知ってもらう事ができた。障がいの特性等の理解が深まった。 引きこもりがちな高齢者が会の参加することを、張り合いにされるようになった。 (評価)活動の継続ができており、参加される高齢者の孤独感の解消に役立っている。 学習的活動だけでなく、交流を目的とした活動を行うことができた。 (今後に向けて)これまで行ってきた活動を継続しつつ、この町で安心して生活するための課題解決に向けた取り組みを進めていく。

事業名	三世代交流会(徳佐婦人会)
事業費	51,363円
事業概要	(目的)保育園児から地域の高齢者の交流を目的とした。 (実施内容)世代間の交流で、昼食も含めて楽しい時間を過ごす。 (実施時期)令和7年7月3日 (参加人数) 96人 (成果)皆さんに喜んでもらえた。地域の方の協力で珍しい昔遊びができて良かった。 (評価)今後も継続して欲しいという声が多い。 (今後に向けて)三世代交流はお互いのパワーをもらった。

事業名	福祉交流会
事業費	21,382円
事業概要	(目的) アカシア工房と婦人会の交流会 (実施内容) 輪投げ・ボッチャをし点数を競い楽しむ。また、一緒にゲームをしたのち食事をして交流を深める。 (実施時期) 令和7年2月19日 (参加人数) 30人 (成果) 交流ができて楽しむことができた。 (評価) アカシア工房の人も楽しむことができて、良かった。 (今後に向けて) 継続して来年も開催したいと思う。

(6) 地域個性創出

事業名	ヤマシヤクまつり(ヤマシヤク祭実行委員会)
事業費	51,654円
事業概要	(目的) 十種ヶ峰のヤマシヤクヤクを見に来る登山客をもてなす。 (実施内容) 仮設トイレの追加設置 (実施時期) 令和6年4月10日～8月1日 (参加人数) 1,000人 (成果) 登山者用に神角八幡宮境内にトイレを1基設置しているがヤマシヤクの開花時期には一度に多くの人 が訪れトイレが込み合い、期間中にトイレを追加設置した。 (評価) トイレを設置する事により、茂みで用を足すこともなく集落における環境衛生面でも評価できた。 (今後に向けて) 今後も継続して美化活動を登山客の利便性を図る。

事業名	どんど焼き(伝統行事等の継承)(徳佐どんど焼き実行委員会))
事業費	18,804円
事業概要	(目的) 正月の伝統行事の継承 (実施内容) お正月の伝統行事として行われているどんど焼きを行う。 (実施時期) 令和7年1月17日 (参加人数) 100人、お飾り委託100名以上 (成果) 地域、行政、学校関係と共に連携してどんど焼きを行うことができ、三世代間の交流を行う事ができ、 昨年準備段階から子ども達に参加してもらい深くかかわってもらえた。 (評価) 個人での焚火が難しい中、お飾りを焚き上げるいい機会である。 地域に受け継がれている貴重な行事である。多くの方が参加、活躍できる場の行事であり、 学校関係や地域の方からは概ね好評を頂いている。 (今後に向けて) お正月の伝統行事として来年以降も続けて行きたい。これからも地域の子ども達に準備から参加 してもらい心に残る伝統行事として醸成していきたい。

事業名	市川ほたるの会
事業費	130,000円
事業概要	(目的) 市川ほたる保護のため、市川周辺の環境整備を継続的に行うことで、地域住民や高齢者のみならず 一般の方のコミュニケーションの場として使用される、又ウォーキングコースにすることができる。 (実施内容) 年間を通して竹や木の伐採、草刈り作業、ウォーキングコースに真砂土を入れ整備する。 (実施時期) 令和6年4月1日～12月14日 (参加人数) 68人 (成果) 計画通り年6回の環境整備をすることによって綺麗な状態を保持することができた。 (評価) 地域住民の方から「歩きやすくなった」「綺麗になった」と多くの評価をいただいた。 (今後に向けて) 活動範囲が広く、この活動を継続的に行うためには会員を増やし、地域住民の方の憩いの 場となるようもっとアイデアを出し取り組んでいきたいと思う。

事業名	徳佐夏祭り
事業費	100, 000円
事業概要	(目的) 故郷の楽しい思い出作り (実施内容) 地域住民の交流(盆踊り、屋台、ゲーム、ステージイベント他。) (実施時期) 令和6年8月15日 (参加人数) 100名 (成果) 帰省客を含め、多くの方が来場。地域の顔見知りの人や帰省した友人等に出会い交流の場になった。ステージイベントのカラオケにも飛び入り参加できたり、子ども達の遊び用具やコーナーもたくさんあり、親子で楽しめる場になった。飲食コーナーも設置し、ゆっくり食べたり話したりすることができた。 (評価) 帰省した人からは、久しぶりに会えた人もいて楽しかった、よかったという声が多数きけた。たくさん人が集い、にぎやかな一日で、地域の盛り上がりを感じた。 (今後に向けて) 地域の行事として毎年開催し、地域を活性化していきたい。

5 事業内容 嘉年

(2) 地域振興

事業名	嘉年ホテル観賞会
事業費	41,360円
事業概要	(実施内容) 準備 6月14日 会場ステージ作り 観賞ウィーク 6月15日 ホテル観賞会 (実施時期) 令和5年6月15日 (参加人数) 延べ70人 (成果) 今年は会場を分館に変えて実施したが、駐車場や会場の準備等スタッフの労力も軽減され良かった。天候にも恵まれ、婦人会さんの心のこもったおもてなしの喫茶で参加者全員で声を出して歌い、手や足も動かしたりして笑顔溢れる楽しい時間となった。音楽療法の効果を実感する貴重な体験となった。 (評価) 多くのご来場があり好評だった。 (今後に向けて) 梅雨時期の開催であるという事を考慮して検討を重ね内容を充実していきたい。
事業名	広報活動
事業費	10,000円
事業概要	(実施内容) 協議会だより発行 No.33 No.34(嘉年地区全戸配布・191世帯) No.35 は阿東観光協会ホームページと山口市公式サイトに掲載した。 (実施時期) 6月・12月 (参加人員) (成果) 活動内容を掲載する事で地域に情報提供することが出来た。 (評価) 情報発信することで嘉年地区内外の皆さんに関心を持っていただけた。 (今後に向けて) 今後も情報発信や意見収集のため広報紙を発行するとともに嘉年地域の PR をしていきたい。

事業名	イルミネーション事業
事業費	100,000円
事業概要	(実施内容) 分館周辺をイルミネーションで飾りつけた。 (実施時期) ・取り付け 令和6年11月17日 9:00～16:00 11月24日 9:00～16:00 ・点灯期間 令和5年12月1日～令和7年1月20日 ・取り外し 令和6年1月25日・26日 9:00～12:00 (参加人数) 延べ50人 (成果) 嘉年地区は過疎化が進み、夜の外灯もあまりない。そのような状況の中、嘉年の中心地にイルミネーションを飾りつける事で住民の皆さんに安心感と癒しを提供することができた。 今年は、電球も増え一段と素敵な光となった。 (評価) イルミネーションの光は交通安全にも良い影響を与えていて大変良い傾向にある。 (今後に向けて) 今後も続けてほしいという意見が多いことから協力団体を増やしつつ出来る限り続けていきたい。

事業名	嘉年ゆうすげフェスタ
事業費	143,790円
事業概要	(実施内容) 17:00～屋台オープン 受付でゆうすげ苗先着30名プレゼント 17:30～あとう夢語太鼓 演奏 18:00～「どじょうすくい踊り」(長岡様・安来節保存会益田支部) 「どじょうすくい踊り」コンテスト 参加人数 ちびっ子の部7人 大人の部7人 合計14人 19:00～ニンニク・駄菓子まき 19:30～「嘉年土居神楽舞」演舞 21:00 終了 *キッチンカー来店 (実施時期)令和6年7月14日(日) (参加人数)約150人 (成果)コロナ禍の中準備の段階からスタッフ全員で健康に気をつけ当日も消毒等に気を付けた。当日は雨天のため、屋内で実施したが、多くの嘉年地区内外の方々にご来場いただき笑顔が溢れ交流も深められ、ゆうすげやニンニク・嘉年米の良いPRにもなり目的が達成されたと思われる。 (評価)今年は地元の NPO げんき嘉年からの支援の他、(株)「嘉年ハイランド」から入賞賞品を無償提供していただき地域ぐるみの協力体制となり良かった。また地元の若者グループの積極的な協力もあり大変良かった。 (今後に向けて)今回の反省点をもとに試行錯誤しながら今後も続けていきたい。
事業名	笑顔カフェ事業(こぶし会祝賀会)
事業費	20,000円
	(実施内容) 「嘉年こぶし会山口県健康福祉功労者知事表彰祝賀会」 (実施時期)令和7年3月18日(火) 10:00～式典 10:30～音楽療法士佐々木澄子さんによる歌声喫茶 11:45～昼食会 12:45～終了 (参加人数)28人 (成果) 設立から38年間の活動が評価され、県知事表彰を受賞したことにより会員がその喜びを分かち合う祝賀会を行い「こぶし会」会員の絆を一層深めることが出来た。 (評価)社会福祉活動の重要性を再認識することができた。 (今後に向けて) 地域における社会福祉活動の担い手の組織として貢献したい。

事業名	グラウンドゴルフ大会
事業費	10,000円
事業概要	(実施内容) 地域の住民の親睦を図るとともに、世代間交流を行い、地域の連携を図ることを目的として実施した。 (実施時期) 令和6年5月26日 (参加人数) 約70人 (成果) 幅広い世代が参加し、人口の減少で地域住民が集まる機会が少ない中、世代を超えての地域住民の交流の場となりました。 (評価) 初めて参加される方も楽しそうな表情で競技され、和やかに一日を過ごすことができた。 (今後に向けて) もっと気軽に参加できるよう内容を検討する。

事業名	嘉年ふれあい運動会
事業費	30,000円
事業概要	(実施内容) 運動会 (実施時期) 10月20日 (参加人数) 約70人 (成果) 走る競技をなくし、新しい競技や小さい子供も参加できる競技を交え世代を超えて知己住民の交流の場となった。 (評価) 新しい競技にも積極的に参加され和やかに一日を過ごすことができた。 (今後に向けて) 誰もが参加できるよう競技内容を検討する。

事業名	ふれあいマップ活用事業
事業費	10,000円
事業概要	(実施内容) 令和7年3月5日(水) 9:40~10:00 受付 10:00~10:10 開会・説明・ストレッチ 10:15~11:45 ウォーキング 11:45~12:00 クールダウン 講師 嘉年地域づくり協議会会長 佐々木 繁氏 嘉年婦人会のおもてなし 8:00~分館調理室で調理(山賊おにぎり・ゆで卵他) (参加人数)20人 (成果) 当日は雨天のため中止とした。 (評価) 皆さん楽しみにされていたと思うが健康面等考慮し、中止とした判断は適正だったと思われる。 (今後に向けて) 今後も継続していきたい。

(4) 安心・安全

事業名	自主防災事業
事業費	90,000円
事業概要	(実施内容) ・連絡訓練 令和7年1月28日(火) 10:01発 ①のライン→10:29着(8人) 10:02発 ②のライン→10:15着(8人) ・研修視察 令和7年2月16日(日)(参加者14人) ・研修先 下関市消防防災学習館 (実施時期) 令和7年2月16日(日) (参加人数) 延べ30人 (成果) ・家庭においての火災の原因や初期消火の仕方、避難の仕方等を学び、今後の生活に大変役立つ研修となった。 また災害時の通報の仕方を実践し、落ち着いて現場の状況を把握することの大切さを痛感することが出来た。 (評価) 地域住民の防災意識の向上に役立った。 (今後に向けて) 今後も防災啓発活動を継続して実施し、防災意識の向上に役立てたい。

(5) 環境づくり

事業名	和田山・勝山城跡整備事業
事業費	65,173円
事業概要	(実施内容) 和田山の草刈り作業及びさくらの苗木の植栽。勝山城跡の調査及び整備。 (実施時期) 4月 5日 和田山さくら苗木植樹 (8人) 7月21日 和田山の草刈り作業 (13人) 11月10日 和田山の草刈り作業 (7人) 3月10日 さくら植樹事前準備 (2人) 3月22日 さくら苗木植樹 (14人) (参加人数) 延べ44人 (成果) 公園全般の繁茂した草等を刈り払うことにより良い環境が保たれる。新たに苗木を植えることで将来のより良い景観に繋がる。 また勝山城跡の調査及び入口の草刈り作業が少しだが、できたので良かった。 (評価) 公園の保全美化に役立っている。 地域住民の郷土愛を育むことにつながっている。 (今後に向けて) 草等の刈り払いについては、勾配が急な所が多く高齢者には無理がある。若者の参加を進めていく必要がある。 今後も苗木を植えていく。 また、勝山城跡への登山道の整備を継続していく。

事業名	クルミ事業
事業費	124,962円
事業概要	(実施内容) 5月14日 部会議 5月16日 現地草刈り作業 6月 4日 現地草刈り作業(草刈り機・モア他) 6月23日 クルミ酒づくり講習会(参加者20人) 7月18日 現地草刈り作業(草刈り機・モア他) 8月 8日 現地草刈り作業(草刈り機・モア他) 8月29日 クルミ部会議 9月 8日 現地クルミ収穫作業 9月30日 収穫したクルミの洗浄作業 11月 7日 クルミ部会議 11月21日 現地草刈り作業 1月31日 クルミを使ったお菓子づくり 2月18日 現地クルミの本数調査 3月 9日 現地防草シート張り作業・お菓子作り 表示板取り付け作業・クルミ部会議 3月22日 防草シート張り作業 (実施時期) 通年 (参加人数) 延べ131人 (成果) 7年目を迎えた事業だが、クルミの苗木も大きく成長し、2年前から収穫もできるようになり今後が楽しみである。 クルミ酒が大変好評であったので今後もクルミ酒づくり講習会を実施していきたい。 (評価) クルミ酒が大変好評で、地域内外から問い合わせが多くなってきた。 また、防草シートを張ったことで景観が大変よかった。 (今後に向けて) 研修視察を実施し、事業の組織づくりや商品開発に取り組んでいきたい。来年度は収穫祭を実施したい。

(6) 地域個性創出

事業名	神楽舞の保存・活用事業
事業費	30,000円
事業概要	(実施内容) 6月 8日 Café Brass 神楽講演会 7月14日 嘉年ゆうすげフェスタ 9月24日 生雲地区敬老会 10月 2日 嘉年八幡宮秋季大祭 10月 6日 徳佐八幡宮秋季大祭 10月10日 中四国電気工事士会合 ホテルかめ福 10月13日 土居神楽舞体験会 阿東地域交流センター 10月20日 赤田神宮秋季大祭 10月26日 山口大学獣医学部創立80周年記念公演 ホテルかめ福 10月28日 ホノルル市議会ホノルル山口県人会訪問 歓迎会 ホテル松政 11月17日 令和版あとうふるさと祭 体験ブース設置 11月21日 第48回中四国身体障害者施設職員研修会 ホテルかめ福 11月23日 どうもん恵比寿祭り 12月15日 ダンスオン・キララ2024 12月21日 土居神楽祭り 2月 8日 山口市伝統芸能フェス in YCAM (実施時期) 実施内容と同じ (参加人数) 延べ160人 (成果) 一人一人がそれぞれの立場を自覚し、日々の練習に取り組んだ。 チームワークがよくとれるようになり、だんだんと良い演技が出来るようになった。今後も皆様に喜ばれる神楽舞をお見せ出来るように努める。 (評価) どこの地域でも迫力ある演舞は好評であった。 (今後に向けて) 「嘉年神楽舞保存会」は今後も練習を重ね、県内外で公演を行い、伝統芸能を広めていくとともに、次世代の育成にも力をいれていき、神楽舞の保存・継続はもとより、嘉年地域の活性化に繋がる活動を目指していく。

事業名	若者支援事業(生きもの観察会)
事業費	4,888円
事業概要	(実施内容) 受付・検温・健康チェック (1) ため池でアメリカザリガニの駆除 (2) ビオトープで生きものの捕獲 (3) 生き物の観察・専門家による解説 (4) みんなでビオトープづくり (5) 観察した生きものをビオトープへ戻す(アメリカザリガニを除く) (実施時期) 令和6年7月27日(土) 8:30～11:30 (参加人数) 52人 (成果) 天候も良く、参加した親子は、自らの手で生き物を捕獲、観察し、思い出に残る観察会となった。 また、専門家の解説を聞き、外来生物(アメリカザリガニ)の影響や、生き物の生態について知り、ビオトープを作ること環境を守るという事を学んだ。 (評価) 生き物の生態を調査、観察することで、楽しみながら子供達の環境学習の一助となる事がわかった。 (今後に向けて) 今後も継続して、調査、観察をしていきたい。